

小学校における外国語活動及び外国語に関する教員の意識アンケート結果

～函館・近郊の数校に依頼し、回答を得た主な内容～

1 ALT や外国語サポーターの授業での活用について

- ・子ども一人一人が英作文や発表する際にアドバイスをもらえる。
- ・ALT や外国語サポーターが来校する回数が増やしてほしい。
- ・ALT が来てくれると子どもたちが喜ぶ。
- ・本格的な発音を子どもが聞くことができる。
- ・打合せ時間がとれず、その場のアドリブ対応になってしまいます。
- ・現在の ALT は日本語が堪能だが、日本語が苦手な ALT だったら困るかも…
- ・豊富な知識や様々なバリエーションのゲームがあり、見たりやったりして勉強になる。

2 子どもたちに外国語を教えていて嬉しいこと楽しいこと

- ・子どもたちが外国語に興味をもって、楽しく活動しているのを見るうれしさを感じる。
- ・個々の力にあまり差がないので、子どもたちが気負わずにリラックスして授業を受けている。
- ・他の教科よりも興味を持っている子どもが多く取り組みやすい。
- ・発表が上手になったり、発音練習の声が大きくなったり、文字の書き方が上手になったり…
一歩一歩成長を感じる瞬間が嬉しかった。
- ・外国の文化にとっても興味を示す。
- ・チャンツや歌、ゲームが大好き。
- ・子どもが知っている英語を使って英文を書けた時。
- ・自分の思いや考えが英語で表現できた時。
- ・文部科学省著作の教材「Let's Try!1・2」があるので、楽しく教えることができる。
- ・視聴覚機器を効果的に活用すると、授業効率が上がる。

3 子どもたちに外国語を教えていて困っていること

- ・英語が得意ではないので、授業で日本語を使うことが多い。
- ・子どもの多様な活動に英語で対応できない。
- ・耳だけで聞いているためか、過去の例文が記憶に残りづらい。
- ・その時間その時間はいいが、今まで習った分を組み合わせて話す活動はハードルが高い。
- ・一人一人の英作文の表現についてアドバイスする際、その表現の仕方が適切か不安になることがある。
- ・苦手意識が強い子へのアプローチの仕方に悩む。
- ・コロナ禍のためペアを作つて練習する時間がなかなかとれなかった。